

ココア ホライズン スナック ショット

(2024/2025年度)

影響力の拡大と変革の推進





ココアホライズンについて

カカオ生産者と彼らのコミュニティの暮らしの向上を目指す



ココアホライズンについて

世界のカカオの大部分は、人里離れた赤道地域に暮らす小規模生産者によって栽培されています。生産者は貧困、カカオの老木化、土壌劣化、さらには清潔な水、電気、舗装道路、質の高い教育といった基本的なインフラ不足といった経済的、社会的、環境的な課題に直面しています。また、気候変動によって気温上昇、降雨量の変動、異常気象、害虫や病気の発生といったさらなる圧力を加え、カカオの供給と生産者の暮らしを脅かしています。

こうした課題に取り組み、カカオ生産者のコミュニティを支援するために、バリーカレボー社は2015年に「ココアホライズン財団」を設立しました。持続可能で起業家精神にあふれた農業手法の推進を通じてカカオ生産者の暮らしを改善し、カカオ生産者のコミュニティ体制を強化して自然環境および子どもたちを保護することを財団の使命としています。本プログラムは7カ国で運営されており、コートジボワールではトウトン社およびシュクデン社と提携しています。

ココアホライズンの核心にあるのは影響力と透明性です。毎年、生産者のコミュニティに具体的な成果をもたらすため、進捗状況と資金の使途を詳細に記し、独立監査を受けた報告書を発行しています。

変革とレジリエンスの推進方法

今年、ココアホライズンは農園の投資とレジリエンスに対する障壁を取り除く取り組みを継続して行いました。

- 収入源の創出活動：カカオへの依存度および農閑期を解消するため、地域住民の収入源を多様化し、小規模商業活動などの収入源の創出活動を確立できるような支援しています。
- 気候レジリエンスを強化するためのアグロフォレストリー（森林農法）と日陰管理：シェードツリーを数百万本配布し、生態系サービス支払い（PES）を通じて樹木の健全性を評価することで、気候変動への適応力の強化と同時に、生物の多様性の向上と炭素隔離を図りました。
- 農園への投資の促進：各生産者に合った「農業経営計画書*」および「生産性向上パッケージ」を通じて、収量と農園の効率改善をもたらす長期的な利益を強調し、生産者に対し持続可能なカカオ生産に必要なツールと戦略を提供しました。



ココアホライズンとの連携を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を支援します。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment>



【SDGs表記に関する免責事項】本書の内容は国際連合による承認を受けたものではなく、同機関またはその職員、加盟国の見解を反映するものではありません。

すべてのレポートは以下のリンクからご覧いただけます。
<https://www.cocahorizons.org/reports>

*農業経営計画書とは、農園の状況を把握し、生産性と収益を向上させるための推奨策を提示する戦略的な文書の事です。

2024/25年度の財務レポート

(単位：スイスフラン)

資金配分*

ココアホライズン
プログラムの収益

38,470,291

当社はココアホライズン財団の目的に沿った活動に資金を提供しています。そのため生産者へのプレミアムに加え、生産性、コミュニティ、環境といった分野への投資を行っています。ここでは、2024/25年度の収入および支出の内訳を公開しています。

ココアホライズン
資金使途

32,482,410

当社の活動は、ココアホライズンが承認したココアおよびチョコレート製品を購入する際にプレミアムを支払う消費者から受け取った資金によって支援されています。2024/25年度では、計画書に記載された数量よりも少ない数量が調達されたため、現金プレミアム支出の総額が予算を下回ったため、結果的に事業費が事業収益を下回りました。

これらの活動は、バリーカレポー社の従業員およびその他のパートナー企業によって実施されています。

【免責事項】 生産者および生産者グループに支払われるプレミアムは調達したカカオ豆の量に基づいています。一方でその他の分野への支出はココアホライズン財団の裁量によって実施されます。

生産者および生産者グループへの現金プレミアム

11,344,710

生産性関連費

6,638,200

コミュニティ関連費

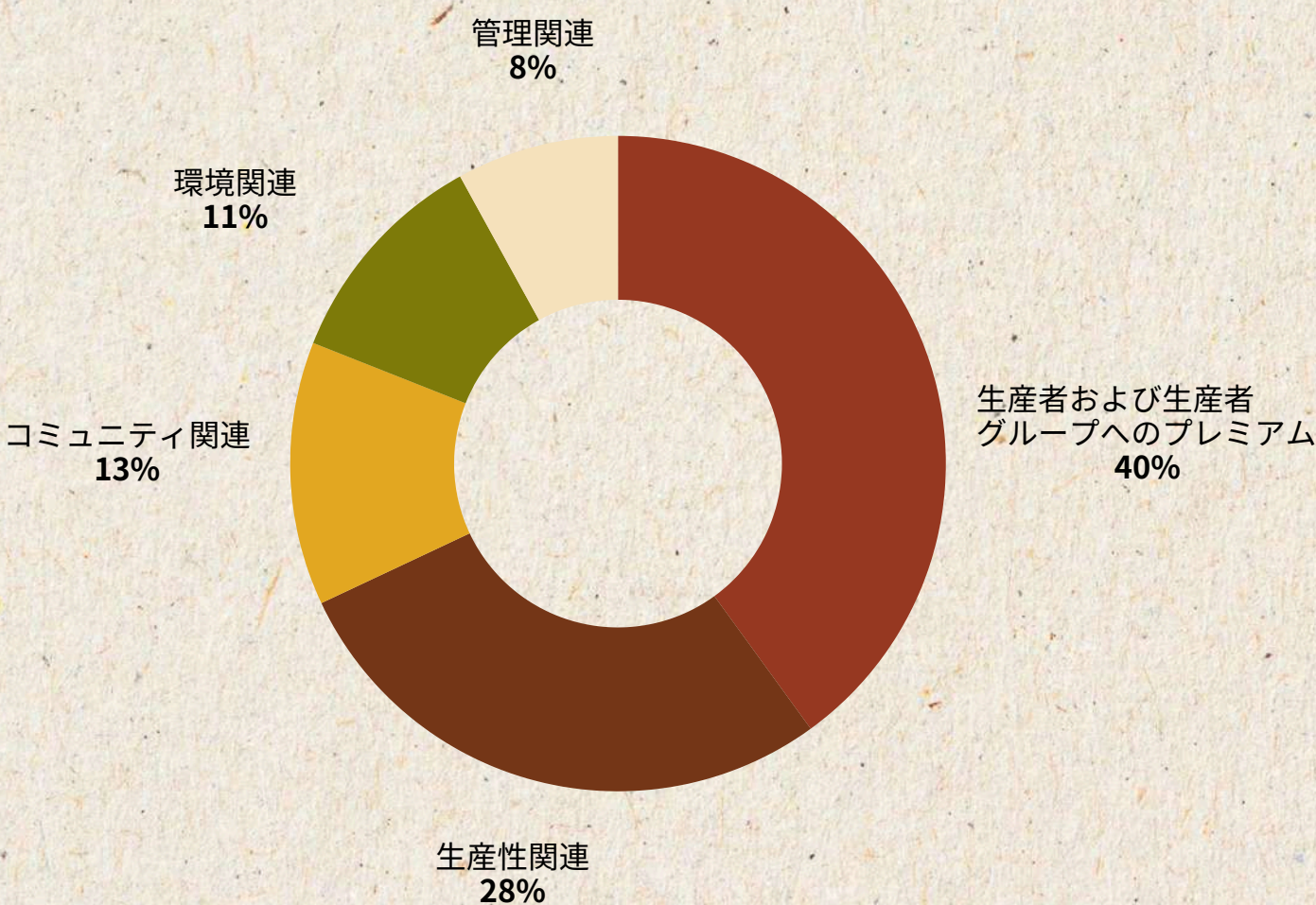
4,821,755

環境関連費

4,647,044

管理関連費

5,030,702



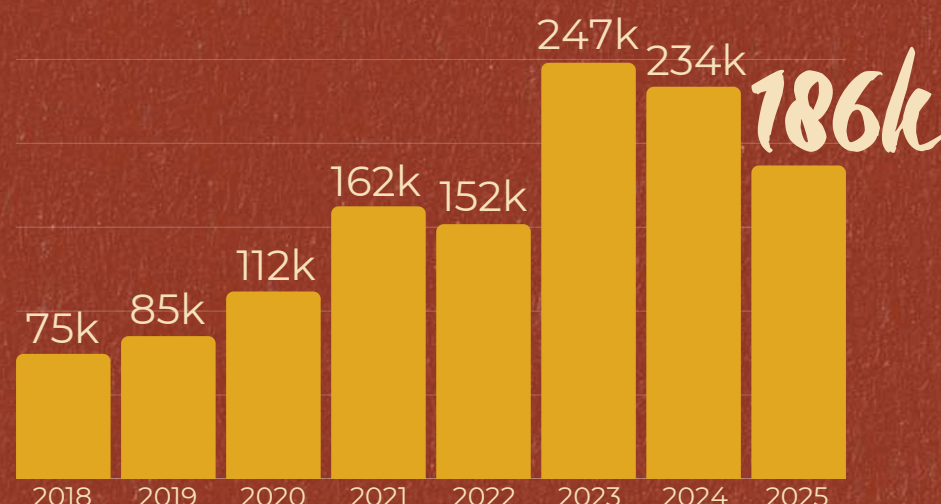
*実際の配分は、現地の状況や特定の事情により±5~10%の範囲で変動する場合があります。

世界における主な成果

収量の減少および購入環境の悪化による、出荷および取引の変動

292

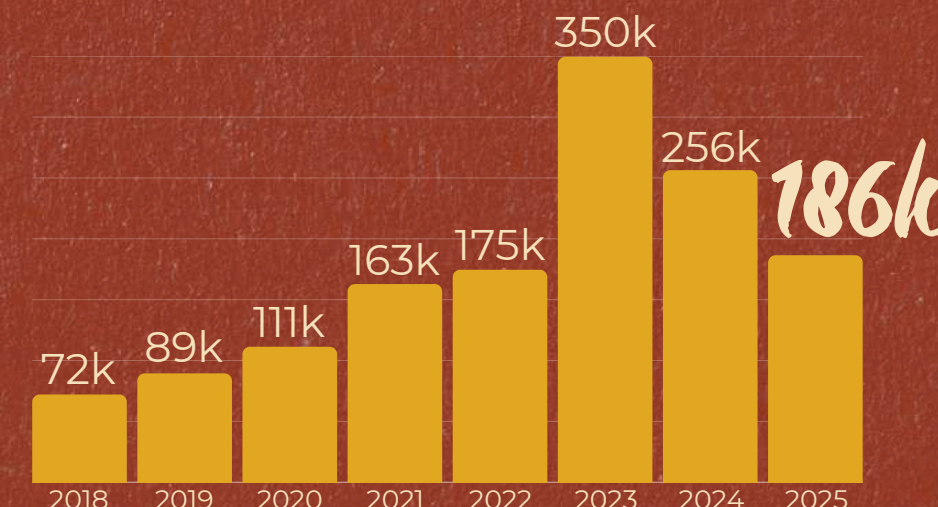
生産者グループ
(2024年に比べて10%減少)



カカオを出荷している生産者数

-27%

カカオ購入量 (前年比)



カカオ購入量 (トン単位)

トレーサビリティの強化

99%

完全にマッピングされた農園から出荷している生産者の割合*

生産者の支援

83%

世界銀行が定義する国際貧困ライン (1日3米ドル) を上回るカカオ生産者の割合*

自立したコミュニティ

99%

当社の直接サプライチェーン内で、児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている生産者グループの割合*

自然を豊かに

95%

森林破壊に寄与していないことが証明されたカカオの割合*

* 2025年12月31日までに100%達成を目標進捗状況については、2025/26年度の通期報告書にて報告予定です

生産者の声

当社と協力関係にある353,298名の生産者とその日常の実態をより深く理解するため、アグリロジック社と連携して独自の調査や詳細な研究を実施しています。これらの調査は、カカオ栽培コミュニティの社会経済的状況や、彼らが直面している課題に対して貴重な知見を提供します。このデータを基に、当社は生産者の実際のニーズに密接に合致した取り組みを行うことができ、彼らの優先課題に的確に対応できるようになりました。



主要データと統計

353,298

COH (ココアホライズン) 生産者数

186,782

カカオを出荷している生産者数

292

カカオを出荷している生産者グループ

51

平均年齢*

8.2

平均世帯人数*

5.92 Ha

平均の農園面積*

65%

カカオ栽培に充てられている農園面積*

98.9%

追跡可能なデータが整備された状態でカカオを出荷している生産者の割合

15.8%

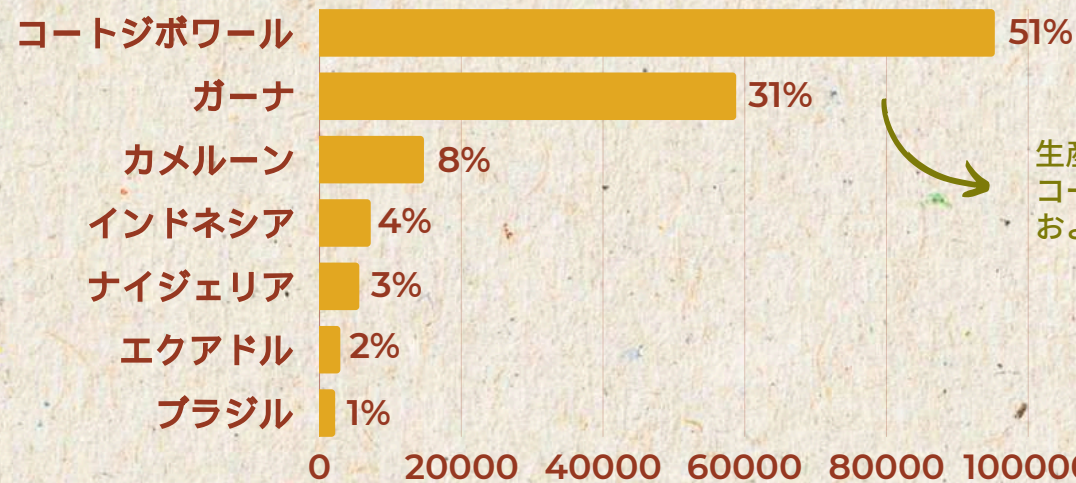
サステナビリティプログラムに参加している女性生産者の割合

83%

世界銀行が定義する国際貧困ライン (1日3米ドル) を上回るカカオ生産者の割合

27%

各世帯の稼働時間の内カカオ栽培に費やす時間の割合*



生産者の過半数はコートジボワールおよびガーナ在住



*コートジボワールの生産者データ (ファーマーフィールドブック2024-2025) に基づく

持続可能な カカオへの取り組み

10年

2025年でココアホライズン財団は設立10周年を迎えます。カカオ生産者のコミュニティが直面する課題に取り組み、真の進歩を実現することを目的に、当社はこの財団を設立しました。ここ10年間でサステナビリティの状況はますます複雑になり、当社は、優先順位の変化を数多く経験し、同時にかつて誰も歩んだことのない道を試行錯誤しながら進んできました。パートナー企業と共に、当社はカカオ供給チェーンの変化していく課題に対応し、持続可能なカカオの未来に貢献するべく、革新的な解決策を推進してきました。

ココアホライズンは、3つの重点分野に継続的に取り組んでまいります。

生産性関連

2025年までに、ココアホライズンのすべて生産者が貧困ラインを上回ることを目標としています。***

2030年までにココアホライズンは、生産者の生活所得を支える「変革的なカカオ栽培モデル」を基に展開していきます。

コミュニティ関連

2025年までに、すべてのココアホライズンのサプライチェーンを人権デューデリジェンスの対象とし、特定された児童労働の事例をすべて是正します。

2030年までに、対象のココアホライズンのコミュニティにおいて、児童の権利を保護・促進するための体制強化モデルを確立します。

環境関連

2025年までにココアホライズンは森林破壊ゼロおよびフォレストポジティブを実現します。*

ココアホライズンは、低炭素農業の実践を通じて、パートナー企業が2050年までにカーボンニュートラルを達成できるよう支援します。

* 進捗状況については、2025/26年度の通期報告書にて報告予定です。

** 世界銀行が定義する国際貧困ライン



生産者の繁栄

2025年までに、すべてのココアホライズンの生産者が貧困ライン*を上回る水準の生活を送れるようにします。2030年までにココアホライズンは、生産者の生活所得を支える「変革的なカカオ栽培モデル」を基に展開していきます

2024/25年、カカオ業界は数多くの課題に直面しました。世界市場におけるカカオの供給減少によって、カカオの価格が歴史的な高値まで急騰しました。カカオの生産量は、気温上昇、予測不可能な天候、害虫や病気の増加といった気候変動の影響によってさらに深刻化しています。さらに、土壌劣化、不十分な日陰管理、そしてカカオ農園の老朽化によって、強靱で持続可能なカカオ供給網を確保するための再生と投資の緊急性が浮き彫りになっています。

こうした課題や極度の貧困ラインが30%上昇したという事実**にも関わらず、ココアホライズンは生産者を貧困から脱却させる取り組みにおいて、進展を続けています。こうした進展は、農園の出荷価格の上昇と現場レベルでの取り組みが組み合わさった相乗効果を反映したものです。ココアホライズンの生産者の82.5%が、見直された極度の貧困ラインを上回る生活を送っており、2023/2024年度に再計算前の値**と比較して31.6%増加しています。

最終目標である「ココアホライズンのすべての生産者の貧困ラインからの脱却」にはまだ至っていませんが、これらの成果は現実的かつ著しい進歩を示しています。当社の取り組みは揺るぎないものです。そして、ココアホライズンに寄せられ続ける信頼に深く感謝しております。

レジリエンスのあるカカオ栽培に向けた新たな戦略

今年取り組みの強化を行い、相互に関連する**4つの分野**（アグロフォレストリー、土壌の健全性、病害虫管理、カカオ苗木材料の入手方法）に基づき戦略を見直しました。

日陰管理と苗木材料

カカオ農園の気候レジリエンスを高めるには、より良い農園管理（特に日陰管理）と

高品質な苗木材料の入手方法の改善が不可欠です。当社のモデルは、約30%の日陰率を誇る多様なアグロフォレストリーシステムを推進しています。これは、カカオと在来種および収入源となる樹種を組み合わせたものになります。今年には原産地全体で前年より39%増の2,676,620本のカカオ苗木の配布を支援しました。

土壌の健全性と病害虫管理

カカオ農園のレジリエンスには、土壌の健全性と効果的な病害虫防除への重点的な取り組みが含まれます。定期的な土壌分析と様々な施肥方法を通じて、土壌有機物と養分レベルを高め、地下および地上の生物多様性の拡大を目指しています。

害虫や病気の脅威が高まり、特に西アフリカにおけるカカオ新梢腫脹ウイルス（CSSV）の脅威が差し迫っている最中、2024/25年にコートジボワールで100ヘクタールのパイロットプロジェクトを立ち上げました。これは、病害の蔓延度が高い地域におけるCSSV対策のための包括的枠組みを提供する取り組みです。

66

地域の現状を知る守り人としてのコーチ：コーチは土壌、季節、コミュニティ、すべての生産者と農園、日々の課題を知っています。

コーチは、信頼を体現すると共に日々生産者と対話し、当社の目標を具体的な行動へと変換している存在です。コーチが身近にすることで、当社が農村コミュニティの真のニーズを理解することができるとのことです。

99

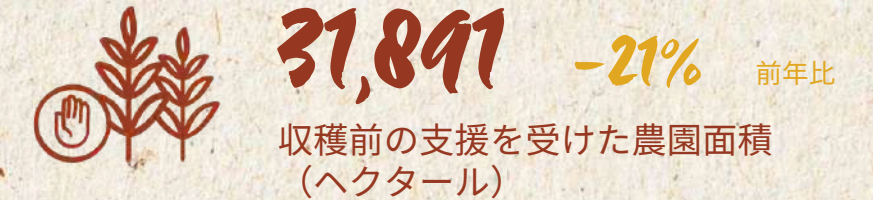
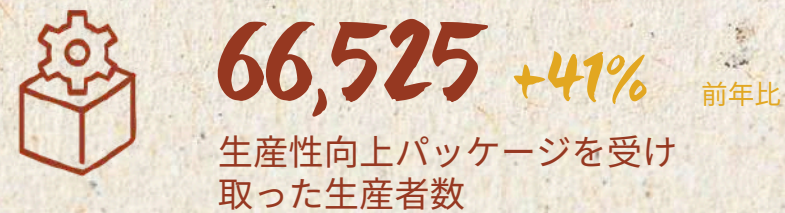
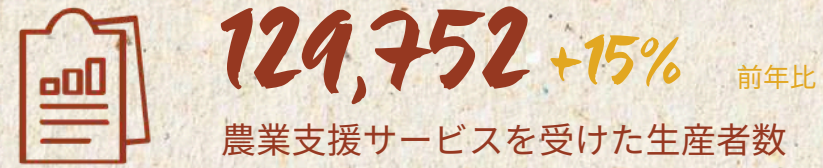
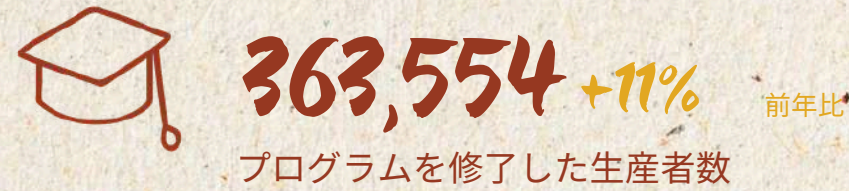
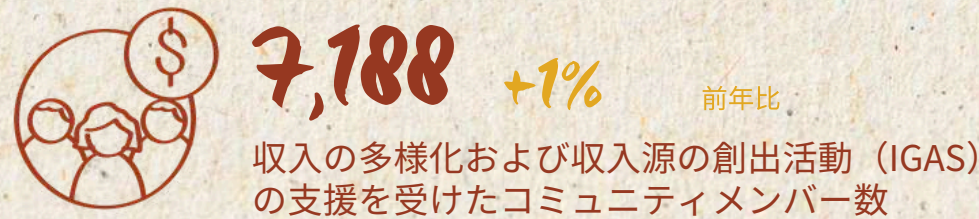


アンヌ＝マリー・クアディオさん
地域プログラム・コーディネーター
アビジャン、コートジボワール

*世界銀行が定義する国際貧困ライン進捗状況については、2025/26年度の通期報告書にて報告予定です。

**2024/25年度に、所得計算方法を見直し世界銀行が新たに定義した1人当たり1日3.00米ドル（従来の2.15米ドルから、インフレ調整後の3.47米ドルに相当）の貧困ラインに準拠しました。影響を正確に反映するため、新たな貧困ラインに基づき2023/24年度のデータを再計算しました。新たに定義された貧困ライン（3.00米ドル）に基づき、2023/24年度には生産者コミュニティ全体の55%に相当する、223,210人のココアホライズンの生産者（従来は259,971人）が世界銀行が定義する国際貧困ラインを上回る生活を送れていることがわかりました。

生産者の繁栄



*2024/25年度に、所得計算方法を見直し世界銀行が新たに定義した1人当たり1日3.00米ドル (従来の2.15米ドルから、インフレ調整後の3.47米ドルに相当) の貧困ラインに準拠しました。影響を正確に反映するため、新たな貧困ラインに基づき2023/24年度のデータを再計算しました。新たに定義された貧困ライン (3.00米ドル) に基づき、2023/24年度には生産者コミュニティ全体の55%に相当する、223,210人のココアホライズンの生産者 (従来は259,971人) が世界銀行が定義する国際貧困ラインを上回る生活を送れていることがわかりました。

自立したコミュニティ

2025年までに、すべてのココアホライズンのサプライチェーンを人権デューデリジェンスの対象とし、特定された児童労働の事例をすべて是正します。*
2030年までに、対象のココアホライズンのコミュニティにおいて、児童の権利を保護・促進するための体制強化モデルを確立します。

児童保護システムの強化

ココアホライズンでは、カカオ栽培のコミュニティが主体となって児童および人権の保護に取り組めるような支援を行っています。予防と影響に焦点を当てた包括的なコミュニティシステムアプローチは順調に進展しています。予防および体系的な対応への移行は困難を伴い、まさしく全く新しい道を歩んでいます。しかし、これこそが地域社会を活気づけ、児童労働の根本原因に取り組み、地域の主体性を育み、子どもの参画に重点を置く持続可能なシステムを構築する道であることを当社は確信しています。

当社のコミュニティシステム強化に関する取り組みは、相互に関連する5つの構成要素に基づいています。詳細は次ページの図を参照してください。

- 児童保護を目的とした連携2024/25年度に、当社はコートジボワール、ガーナ、ナイジェリアにおいて、セーブ・ザ・チルドレン、ライト・トゥ・プレイ、テールデゾムという3つの主要な児童権利団体と連携しました。この3つは、子どもたちによって形作られ、子どもたちのための児童保護システムを構築する地域主導の取り組みを支援している組織です。さらに、人権デューデリジェンス (HRDD) へのアプローチの一環として、コミュニティで見守り、保護すべき子どもを支援する体制や

保護委員会と村落貯蓄貸付組合 (VSLA) の設置、児童向け学校クラブの育成、保護者・教員向け研修の実施を通じて、家庭と学校における保護環境の促進を図っています。結果、成人では計25,858人 (直接・間接) 子どもでは、計28,734人 (直接・間接) に達しました。

2024/25年度、ココアホライズンのサプライチェーンの98.8%が当社の児童労働監視および是正活動の対象となり、23,777件の児童労働事例が是正されました。

貯蓄および投資活動の支援

収入機会の多様化を支援することは、経済的安定と世帯のレジリエンスを育む上で重要です。今年、ココアホライズンは以下の活動を支援しました。

- 1,437の村落貯蓄貸付組合 (VSLA) の設立
- 女性支援：メンバーの約70%が女性であることから、家庭の安定を強化し、女性支援を推進しています。
- 資金調達へのアクセス：貯蓄総額が380万スイスフランに達し、そのうち210万スイスフランを教育、農場、家庭の必要経費に再投資されました。

農園巡回調査および統合型の児童保護ケースマネジメント

人権デューデリジェンス (HRDD) の取り組みの一環として

西アフリカにおける4つの調達国全域で、農園巡回調査 (FOS) を全面的に導入しました。2024/25年度において、当社は現地スタッフに対し、農園巡回調査を通じて、児童および成人の双方に影響を及ぼす潜在的な人権上の懸念や事案 (潜在的な強制労働や児童労働を含む) を意味する様々な形態の危害の兆候を観察・報告する方法に関する研修を実施しました。重要な点として、このプロセスでは子どもへの聞き取り調査は行っていません。これにより、国際的・地域的な児童保護法との整合性が強化され、子どもたちへの危害のリスクが軽減されます。

統合型の児童保護ケースマネジメント

コートジボワール、ガーナ、カメルーンでは、現地当局 (公的児童保護サービス) と連携して、社会福祉サービスと連携した統合型の児童保護ケースマネジメントを実施しています。NGOのパートナー企業を通じて、現地の児童保護組織のキャパシティビルディングを行い、児童保護ケースマネジメントの手続きを支援しています。

66

私は、村落貯蓄貸付組合 (VSLA) がコミュニティにもたらす変化を体験する事に情熱を感じます。当社が組合を設立し、財務に関する助言や研修を受けられる場を設けて女性を支援するとき、新たな世界が開けてくるのです。女性たちが自分たちの能力を試すことができる姿こそが、見たい最も美しい光景です。

99



マチュー・デシレ・ノモさん
上級改善措置担当官
(カメルーン)

*進捗状況については、2025/26年度の通期報告書にて報告予定です。

コミュニティシステム アプローチの5つの構成要素

成果

児童保護システムの
効果的な機能

コミュニティの
インフラ改善

質の高い教育への
アクセスの改善

生計強化の手段への
アクセス改善

マルチステークホルダー
による連携の拡大と強化

活動内容



コミュニティレベルの
児童保護委員会の設置
政府による児童の権利
侵害に対する効果的な
防止、評価、是正の義
務付け



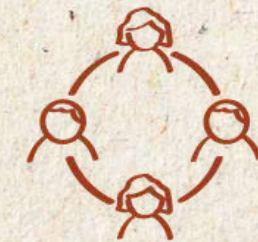
コミュニティ行動計画
およびインフラ整備へ
の支援
コミュニティの開発ニ
ーズへの対応



学校レベルの活動
学校における学習および
児童のウェルビーイング
への支援



生計強化の手段
世帯の金融資産、金融
知識の向上および
収入・貯蓄・資源への
アクセスの改善



マルチステークホルダー
による連携
現地、国内、国際レベ
ルのステークホルダー
との積極的な協力およ
び関与



自立したコミュニティ



98.8% +4% 前年比

当社の直接サプライチェーンにおける生産者グループのうち、当社の児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっているグループの割合



23,777 +4% 前年比
是正措置を講じた児童労働の件数



276 -4% 前年比

児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている、直接サプライチェーン内の生産者グループ数



1,437 -26% 前年比
設立または運営中の村落貯蓄貸付組合(VSLA)の数



12,261 -2% 前年比

特定された児童労働の件数



69% 0% 前年比
VSLAの女性メンバーの割合



32,218 -4% 前年比

是正措置を講じている児童労働の件数



370万スイスフラン +14% 前年比
VSLAを通じた貯蓄総額



200万スイスフラン +3% 前年比
VSLAを通じた貸付総額

自然を豊かに

トレーサビリティと透明性

1960年代以降、世界の 카카오 生産拡大のほぼ半分は森林景観を犠牲にして達成されてきました。ココアホライズンは、農園外の森林保護活動といったエコシステムの保護、および生態系を保全し、気候変動の影響を緩和するための日陰管理といった農園内の実践を通じて、ポジティブな変化を生み出していくことを目指しています。当社は変化する規制要件に対応しており、特にEUDR（欧州森林破壊防止規則）に対して十分な準備を整えています。

今年当社は、47万819件の 카카오 農園区画をマッピングし、ココアホライズンプログラムの対象となっている生産者の全データ収集において99%のカバー率を達成しました。当社の現地スタッフが生産者名や農園規模、GPS座標、およびポリゴンを直接収集する仕組みです。収集したデータにより、透明性の高いシステムを構築し厳格なチェックを実施することで、森林破壊のない 카카오 を供給し、パートナー企業が

EUDRの要件を満たすよう支援します。当社は誇りを持って、森林破壊ゼロの目標に近づいていると言えるでしょう。ホライズンズのココアの95%は森林破壊に寄与していません。

フォレストポジティブ

当社のフォレストポジティブへの取り組みは、森林破壊ゼロを超えています。農園レベルでのトレーサビリティと強固なデューデリジェンスを基盤として確保することはもちろん、当社はそこからさらに一歩踏み込んだ取り組みを行っています。当社の戦略の中核をなしているのは、森林保護です。毎年、当社はコートジボワール、ガーナ、カメルーン、ナイジェリアといったリスクの高い 카카오 生産地域において、重点的な保全活動に対し投資を行っています。2024/25年度には、森林再生を目的に56,001本の苗木を配布しました。

** 進捗状況については、2025/26年度の通期報告書にて報告予定です。

** ココアホライズンが採用しているPESメカニズムは、正確かつ信頼性の高い炭素報告を確実なものにするため、SBTi-FLAGの目標設定手法に従っています。炭素増加量を区画レベルで測定し、SustainCERTで認証を受けたものを吸収量として報告します。区画モニタリングの際に生存が確認された樹木の数に基づいて、生産者に支払われます。

66

コートジボワールでは、Office Ivoirien des Parcs et Réservés (OIPR) と連携して5つの保護地域を支援しています。当社は共に法的枠組みの効果的な実施に貢献し、森林管理を強化し、参加型のモニタリングシステムを推進しています。さらには森林の長期的な保護を実現するための革新的なインセンティブメカニズムを模索しています。

99



ロゼリン・カウナンさん
副代表
(SACO)
コートジボワール



自然を豊かに

